

11 月 25～27 日にアジア・スマートシティ会議 2025 を開催

アジア版“循環型都市宣言制度” の立上げを先導します

近年、地球への環境負荷を抑えながら持続的な経済成長・発展を目指す、「循環型都市」への移行が世界的な要請となっています。特に欧州では、「欧州循環型都市宣言制度」(※1)という枠組みに各都市が参加し、互いに協力して循環型都市への移行に取り組んでいます。

横浜市は、これまで環境にやさしい都市づくりの経験を海外都市に共有するなど、国際社会での存在感を高めており、**今回のアジア・スマートシティ会議（ASCC）で、アジアの都市に働きかけ、各都市のリーダーと共に、アジアで循環型都市宣言制度が設立されるよう公開で要望**を行います。また、この要望を受け、**国際的な機関の代表が、制度設立や都市への支援について公開で議論**します。

ポイント1 横浜市がアジアにおける循環型都市推進を発起(11/25)

- ・ 横浜市が発起都市となり、マレーシア・クアラルンプール市長をはじめアジアの都市リーダーとともに、要望書（公開書簡）への署名式を行います。
- ・ この要望書では、世界的な都市ネットワークであるイクレイ（ICLEI）(※2)や国際機関に対し、アジアでの循環型都市宣言制度の設立を呼びかけます。



マイムナー・モハメド・シャリフ
クアラルンプール市長

ポイント2 国際的な機関が議論し、循環型都市を後押し(11/26)

- ・ 要望書を受け、イクレイなどの国際的な機関がセッションに参加し、アジアでの循環型都市宣言制度の設立や、都市への支援について議論します。
- ・ イクレイのほか、環境省、国連機関、循環経済の専門機関であるサークル・エコノミー財団、アジア太平洋の都市ネットワークであるシティネットなど、様々な機関が登壇予定で、要望書への賛同や後押しが期待されます。



昨年度 ASCC のクロージングの様子

【※1 欧州循環型都市宣言制度】

令和 2 年、イクレイ欧州が中心となって立ち上げた枠組みで、現在までに欧州 22 カ国約 90 都市が参加。各都市は、循環型都市への移行に向け目標を定めることなどを宣言するとともに、課題や先進事例を共有している。なお、アジアにおいては、こうした地域共通の宣言制度は存在していない。

【※2 イクレイ(ICLEI:持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会)】

世界 2,500 以上の自治体による都市ネットワーク。国連に対して自治体を代表した発言を行うなど、持続可能な都市と地域の実現を目指す。日本からは横浜市を含め 27 自治体が加入。山中竹春横浜市長はイクレイ日本理事。

【取材申込み】取材をご希望の方は、**令和7年 11 月 21 日(金)17 時までに、メール本文に別紙取材申込書に記載の項目を記入のうえご連絡いただくか、別紙取材申込書を記入のうえお申込みください。**



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【アジア・スマートシティ会議(ASCC)について】

世界の都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に会し、経済発展と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う、横浜市が主催する国際会議。平成 24 年にはじまり、今年で 14 回目を迎える。

(1)ASCC2025 概要

- テーマ：環境にやさしい循環型社会に向けて～サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルの推進、そして GREEN×EXPO 2027 へ～
- 日程・内容：11月25日(火) オープニング・セッション、プレナリー・セッション
11月26日(水) 都市セッション、ビジネスセッション、クロージング・セッション、ブース展示
11月27日(木) 海外招へい都市向け施設見学ツアー
- 会場：パシフィコ横浜ノース (11月25日、26日)
- 言語：英語・日本語(同時通訳有)
- 一般参加：無料(要事前登録) <https://ascc.city.yokohama.lg.jp/>
※取材申込された方は、一般参加登録の必要はありません



公式ウェブサイト

※詳細は ASCC2025 ウェブサイトをご覧ください。 <https://ascc.city.yokohama.lg.jp/>

(2)ブース出展企業等

株式会社 R2、株式会社アイエーエナジー、株式会社アグリ王、アジア開発銀行 (ADB)、アズビル金門株式会社、AGC 株式会社、オクト産業株式会社、海洋都市横浜うみ協議会、鹿島建設株式会社、株式会社カマン、株式会社ガルデリア、株式会社 kitafuku、株式会社京三製作所、Quickry 株式会社、株式会社グリーン、株式会社 clivia nobilis/フィリピンコナッツ庁、株式会社建設技研インターナショナル、国際農業開発基金 (IFAD) /IFAD ユース・クラブ・ジャパン (IYCJ)、Circularise Japan 株式会社、株式会社 Circloop、株式会社 Sansei、JFE エンジニアリング株式会社、JICA 横浜、世界銀行東京開発ラーニングセンター、全日本空輸株式会社、株式会社 TIMEWELL、株式会社竹中工務店、東邦レオ株式会社、日本原料株式会社、株式会社 BIOTECHWORKS-H2、原貿易株式会社、Hundredths 株式会社、ピープルポート株式会社、ピールラボ、日之出産業株式会社、株式会社ファインテック、株式会社フォーラムエイト、株式会社水と古民家、株式会社村田製作所、横浜ウォーター株式会社、株式会社横浜工作所、株式会社横浜国際平和会議場 (パシフィコ横浜)、LOOVIC 株式会社、レコテック株式会社、横浜市

(3)環境への配慮

エネルギー使用による CO2 排出量の実質ゼロ化、及び、廃棄物全体の約 90%のリサイクルを実現しているパシフィコ横浜を会場とします。また、会議中の飲料については、リサイクル材および再生可能な素材を使用した、リサイクル可能な紙容器(テトラパック)による飲料水の提供とその回収や、コーヒー用のリユース容器(Circloop) の提供とその回収を行うなど、環境に配慮し、環境行動を促す会議運営を行います。

お問合せ先

国際局グローバルネットワーク推進課担当課長 谷澤 寿和 Tel 045-671-4889



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「アジア・スマートシティ会議(ASCC)2025」

取材申込書

【提出期限】令和7年 11 月 21 日(金)17 時まで

横浜市国際局グローバルネットワーク推進課 行
 メール: ki-global@city.yokohama.lg.jp

項目	内容	
貴社名(部署名)		
御担当者名		
当日の取材人数	人	
取材セッション等	日 時	
	セッション等	
取材内容	ムービーカメラ	台
	スチールカメラ	台
御連絡先	電話 () メールアドレス	
備考		

※1 最新のタイムテーブル・セッション情報は ASCC2025 ウェブサイトをご確認ください。
<https://ascc.city.yokohama.lg.jp/>



お手数をおかけしますが、HP をご確認いただき、令和7年11月21日(金)17時までに、
 お申込みをお願いいたします。



GREEN×EXPO 2027
 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

